

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス : kaikoku@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス : <http://www.osima-kaikyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

入学式

4月7日、第11回入学式を行いました。新入生78名を迎え、厳かに式典を挙行了しました。同日、本校寄宿舎にて、寄宿舎生73名の入舎式も行いました。入学式の生徒宣誓を掲載します。



暖かな春の光に包まれたこのよき日に、私たち新入生七十八名は無事入学式を迎えることができました。九年間の義務教育を終え、この大島海洋国際高校で夢と希望を抱き、新たな一歩をスタートします。

学習面では、これまでより専門的なことを学ぶことになります。

私は、これからの高校生活で、英語に力を入れていきたいと思います。特に英文を読む力を見につけ、まだ翻訳されていない本や、外国のニュースなどを、自分で調べられるようになりたいです。

生活面では、責任感を強くもち、周りに流されず、自分の目標にむかって堅実に取り組んでいくことが求められます。

これまで、やりたい事を優先して、やらなければならない事を後回しにしてしまいがちでしたが、これからは自分を律し、その場その場で流されないようにします。

私は小学校、中学校と大島の学校で学んできたため、一緒に学ぶ仲間の顔ぶれはあまり変わりませんでした。しかし、大島海洋国際高校では、これまで全く接点のなかった人たちが集まり、新たな生活が始まります。時には意見が行き違い、衝突する事もあるかもしれません。そのような時には、お互いの意見を尊重し、相手の気持ちも考え、話し合い、解決していきます。そして校訓にも掲げられているように「誠実で礼節を重んじ、協力し合える」海国生になれるように、切磋琢磨し成長していきます。まだまだ未熟で至らない事ばかりですが、はやく先輩方に追いつけるように精一杯努力していきます。

最後になりますが、先生方、先輩方、このような入学式を挙行してくださり、ありがとうございます。これからお世話になりますが、よろしくお願いします。

保護者の皆様、これからもたくさん心配をおかけすると思いますが、見守ってくださいませよう、よろしくお願いします。

私たちは志望校に合格できたのだという事を忘れず、学業だけでなく、文武両道を目指して励んでいきます。

これで誓いの言葉とさせていただきます。

平成二十八年 四月七日

新入生代表 山田 怜央



平成27年度 9期生国際系 海外体験学習（平成28年3月20日～3月23日）



春休み中に、9期生の国際系希望者を対象に海外体験学習を実施しました。3月20日に成田からサイパンに向けて出発し、3月23日まで姉妹校のサイパンサザンハイスクールを拠点に国際交流を行いました。サイパンサザンハイスクールでは2日間現地の学生と一緒に生の授業に参加し、現地の英語についていく難しさを感じながらも音楽や英語の授業を通して交流を行いました。また、現地の学生宅に2泊のホームステイを行い、放課後の時間を一緒に過ごし、自分の意思を伝える難しさや大切さを学びました。研修の合間には体験学習でサイパンのビーチを体験し、忘れられない思い出を作ることもしました。



（英語科 鈴木翔先生）

サイパン感想

3年A組 高橋 建太

3月の春休みが始まった翌日から4日間、国際系24名はサイパンに行ってきました。事前に調べているとはいえ、実際のサイパンは想像もつかない場所でした。不安を抱きながら迎えた一日目、飛行機から見たサイパンは高層ビルが一つもなく、自然のジャングルに覆われた島でした。上陸後は当然のことながら言語が英語で心細さを感じました。日本の冬服を着ていたのも、一層暑さが印象的なものとなりました。

2, 3日目にはホームステイの他に、サイパンサザンハイスクールとの交流がありました。拙い英語を使いつつホストファミリーやサイパンの生徒とコミュニケーションをとりました。知っている知識を使って話し進めようと頑張ってみました。が、現地の方々の流暢な英語と知らない言葉によって英語によるコミュニケーションがまだまだ未熟だということを痛感しました。最終日は名残惜しい交流で帰国しました。

様々のものを見て知れたことは、行ってみなければわからないとても貴重な体験だったと思います。この体験を振り返りつつ、これからの生活につなげていきたいです。

3年A組 西川 柚子夏

今回私たちは言語学習を通してサイパンへ4日間行きました。文化や言語が異なる中での生活は驚きの連続でした。ホームステイ先の人たちとの交流やSSH(サイパンサザンハイスクール)での体験授業、戦場跡を訪れてサイパンの歴史に触れるなど本当に貴重な経験をすることが出来ました。

中でも、同年代の子たちとの交流はすごく新鮮でした。自分で車を運転して通学していたり、制服が無かったり、授業中にラジオが流れていたりとは日本とは全く違う学校生活を送っていました。SSHの生徒はすごく積極的に発言をされていて、教室が常ににぎやかでした。また、みなフレンドリーで少し戸惑いながらも気遣って話してくれたので、とても授業があつという間に過ぎました

今回サイパンに行くことができて、本当に良かったと思います。他国の文化に触れることで、自国の良さや、見習わなくてはいけない所などを発見できたことによって自分の世界観が広がったと思います。実際にその地を訪れネイティブの英語に触れたり、観光地へ足を運んで見たり。現地の人々と交流したりすることで吸収できるものは一生ものだと感じました。今回学んだことをこれからの生活の中でも生かしていきたいと思っています。



平成28年度 航海学習始動



4月14日3年生海洋系1次航海が始まり、15日に同級生の見送りを受け波浮港を出港しました。本来は2年生で実施する予定の実習ですが、諸般の事情によりずれ込んでしまいました。今年度は各航海を短くし、実施していく予定です。当初の予定とは期間も短くなり、寄港地も変更しての実施となっています。御了承ください。3年生の国際系の乗船は、6月に希望者対象で行います。

15日出港した大島丸は東京に寄港し、食料や燃料を積み込みました。17日に東京出港予定でしたが、低気圧の影響で24時間延期し、21日沖縄県那覇港に入港しました。沖縄では史跡見学や、施設見学、スクーバダイビング実習を実施します。24日15時に出港し27日大島波浮港へ帰港しました。

ボランティア部報告 熊本地震で被災された方にお見舞い申し上げます。

ボランティア部では地域の皆様の御協力のもと、アルミ缶を回収し東京でリサイクル業者に買い取ってもらっています。今回は、大島丸が東京寄港の際に積み込み、運搬してもらいました。船員の皆様、実習生ありがとうございました。今までは車椅子を購入して、諸施設に寄付していましたが、今回は、熊本地震への義援金として、60,200 円を寄付いたします。今後とも御協力よろしくお願いいたします。

熊本地震義援金募金

4月23日から29日まで生徒会役員が中心となり、校内で募金活動を行いました。大島土砂災害の時にも多くの方の支援をいただきました。少しでも、被災者の方々の力になれば幸いです。26日までの募金額は28,476 円です。



離着任の先生方を紹介します

	転出された先生方		着任された先生方	
校長	千葉 勝吾	八丈高校	山寺 佳幸	
副校長			原田 柊太	
国語	城間 圭太	退職	神谷 晶子	
	笹井 拓也	南平高校	海原 由樹	
公民	林 伸生	日野高校	門脇 滉	講師
地歴	森田 英樹	小岩高校	山田 啓介	ハウスマスター
数学	小川 重陽	田無高校	柴田 一也	
理科	原田 研志	昭和高校	成島 亮如	
英語	佐藤 慎哉	若葉総合高校	高山 謙一	
	五十嵐 正	南平高校	小坂 修一	
保体	後藤 良宏	荒川商業高校	野木 淳裕	ハウスマスター
	山口 尚己	九段中等教育学校	古川 勝也	
水産	野村 勇仁	八王子盲学校	佐藤 真郷	
			北原 あゆみ	
経営企画室	加藤 光男	退職	多田 緑	
	谷合 和紀	大島第三中学校	田中 克憲	
	渡辺 麻美	都庁	増子 智	
大島丸			村瀬 友章	
音楽	皆川 心里	中学校	宗像 里織	講師



サッカー部遠征報告(速報)

4月24日渋谷教育学園と対戦し、1対1の末、PK戦で勝ちました。4月29日、東京工業大学付属高校グラウンドに於いて日本体育大学荏原高等学校と対戦します。